土佐希望の家通信

＜発行＞重症心身障害児者施設 土佐希望の家 高知県南国市小籠 107 TEL 088(863)2131 FAX 088(863)2133
http:/ /www.tosakibou.jp Email:info@tosakibou.jp 発行責任者 門田 正坦 編集責任者（ソーシャルワーカー)石川 陽子

29年度挨拶

常務理事 山下 敏正

平素は、社会福祉法人の運営等に、ご支援、ご尽力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、社会福祉法人制度の見直しが行われ、社会福祉法人は、公益性や非営利性に見合う運営体制の実現や経営組織のガバナンスの強化等により、運営に対する説明責任果たすとともに、地域に貢献していくようにするということが明確に示されました。

当法人では、このことを踏まえ、今後の施設等の運営のことを考え併せ、運営する施設が障害児者の医療・福祉の拠点施設として一層飛躍し、より社会に貢献していくことを期し、４月１日から名称を「重症心身障害児者施設 土佐希望家」から「土佐希望の家 医療福祉センター」に変更するとともに、看護部と療育部を一本化し看護生活支援部に、また、療育員の名称を生活支援員とするなど、組織体制等の見直し変更を行いました。

次に、平成29年度の取り組みについてですが、法人では、①制度の改革に沿った取り組みを確実に実施すること、②土佐希望の家のあり方等を考えること、③災害対応の取り組みを充実すること、そして、運営する施設・事業所において、③不適切な行為の発生を防止するとともに、より良いケア・支援を実施すること、④ヒヤリハットや事故の発生件数を減少させること、⑤施設・事業所において作成した計画の進捗状況をしっかり把握し、ＰＤＣＡサイクルを回しながら実施すること、などを掲げています。

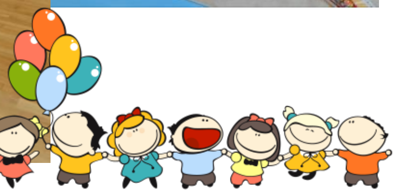
平成29年度は、前述の制度改革、組織体制の変更など、土佐希望の家の今後を展望するうえで、大切な1年であると考えています。計画に掲げている内容を着実に実施するとともに、これまで、多くの方々に支えら土佐希望の家の今日があるということをしっかり認識し、今後とも地域や社会の期待、また、その果たすべき役割に、しっかり応えていくための基礎づくりの年としなければならないと考えています。引き続き、皆様のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

ご厚意

【寄付金・寄付物品】

岡本清正様・高知ライオンズクラブ竹島譲様・小林豊様・日本基督教団南国教会様・大篠地区社会福祉協議会様
高知友の会新井田佳織様・吉本美代子様・小野坂順子様・日本キリスト教団高知教会様・株式会社高知広告センター様・北村忠司様・高知競輪競馬場内保安労働組合様・株式会社神戸新聞社(株式会社デイリースポーツ四国本部)様・サンケイスポーツ様・株式会社サンコール様・日刊スポーツ新聞社様

ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いいたします。



着任挨拶

夫 敬憲 医師

初めまして。1月から土佐希望の家で勤務させていただいています、夫 敬憲（ぷ きょんほん）と申します。

大阪出身で平成２年に徳島大学医学部を卒業し、その後、小松島赤十字病院、国立善通寺病院、高知赤十字病院を経て平成６年から四国こどもとおとなの医療センター（旧香川小児病院）で小児脳神経外科医として勤務してきました。こどもの脳神経外科ですので取り扱う疾患は水頭症、二分脊椎等の先天性疾患、脳腫瘍、頭部外傷、てんかんなどが主でした。ただ、普通の脳外科と違うのは、小児病院に赴任すると同時に重心病棟も受け持ちさせられた事です。それまでは、重心という言葉さえ知らずに全く未知の領域でした。なぜこんな人たちが一カ所に集められているのかという疑問から始まりました。それからは脳外科の一般診療の傍らで徐々に重心医療について勉強して参りました。とは言え、教科書がある訳でもなく自己流で間違った事も多々あったのではないかと考えています。

趣味はバイクです。とは言っても免許をとったのは40歳すぎてから。ハーレーに憧れて免許をとったものの、なぜかスポーツバイクを購入し、アマチュアレースにはまってしまいました。年を取ってから新しい事を始めるのには無理があったのか、２度の転倒の末に引退し、現在は当初の目的であったハーレーでゆっくり走っています。暖かくなったら、高知でツーリングするのを楽しみにしています。

この度、縁があって高知という土地にやって参りましたが、20年以上前に1年半だけ高知日赤に勤務していました。その頃と比べると道路は広くなり、新しい建物も増えたなあという印象です。しかし、土佐弁や人の雰囲気などは当時のままで、懐かしいという感じです。

希望の家では最も若い医師となりますので、長先生をはじめとする諸先輩先生方に土佐流の重心医療を教えていただきながらがんばって行こうと思います。よろしくお願いします。

私の仕事

通園 川崎 博之

放課後等デイサービスについて

放課後等デイサービスは2012年4月の改正児童福祉法により位置づけられた新しい支援制度です。主に6歳から18歳の障害のある児童を対象として、放課後や夏休み等、長期休業日に生活能力向上のための訓練および社会との交流促進などを継続的に提供するものです。希望の家では2012年5月にスタートしました。事業所名は多機能型重症心身障害児通園事業所「やまびこ」といいます。現在、定員5名で通常(放課後デイ)の登録者7名。夏休み等の長期休暇中の登録者は放課後デイと合わせて13名です。職員は通常3名(看護1名、療育2名)体制です。3名とも希望の家の元職員です。夏休み等、長期休暇中は12名(看護5名、療育7名)の職員でローテーションを組んでおります。看護師は若草養護学校土佐希望の家分校の看護師(4名)に来てもらっています。

開設当初より苦労するのは職員の確保です。そこで頼りになるのは希望の家のOBです。また、分校の看護師も頼りになります。分校が夏休みの間、ローテーションを組んでもらって毎日、1～2名来てくれています。本当に助かります。

1日の流れですが、朝、保護者様が分校に送ってこられます。利用者様は授業を受けた後、13時～18時または15時～18時の間を放課後デイで過ごします。18時までに保護者様が迎えに来られて1日が終わります。

子供さんに障害があっても、仕事を続けたい、社会と関わっていきたいと思われている方が多くおられます。様々な社会資源を活用しながら子供さんの成長を望んでおられると思います。そんな社会資源の一つとして放課後等デイサービスは位置づけられています。始まった頃は「やまびこ」だけだったので、夏休みの希望者が多く、お断りをすることが多かったのですが、他にも放課後等デイサービスを行う事業所ができ、利用される方にとって利便性がよくなってきています。これからは事業所間の連携も必要となってくると思います。

今後とも事業は継続されますので応援の程よろしくお願いします。

清和女子キャロリング

12月12日清和女子高等学校の皆様が毎年恒例のキャロリングに来てくださいました。

昨年と同様、1病棟は病棟閉鎖だったこともあり、残念ながら聴くことはできませんでしたが、素敵な手作りのリースをいただきました。

響き渡るハンドベルの音色と澄み切った学生さんや先生方との声のハーモニーでクリスマス気分を味わうことができました。

ありがとうございました。

車椅子 贈呈

3病棟の小松義幸さんがコツコツ集めたプルタブを日章小学校に寄贈したお話は以前、通信にて報告いたしました。

あれから日章小学校のボランティアクラブ14名を中心に全校生徒、教職員様、保護者様のご協力で、小松さんが集めたプルタブに追加し、合計なんと800キロものプルタブを集め、車椅子と交換し、希望の家に贈呈してくださいました。

2月22日の贈呈式。168名の全校生徒の前で緊張した面持ちの小松さんでした。「これからも元気でお過ごしください。」と温かい言葉をいただき「ありがとうございました。」と大きな声でお礼を伝えました。

いただいた皆様の想いの詰まった車椅子、大切に使わせていただきます。日章小学校の皆様、ありがとうございました。

ふくし就職フェア

2月26日（日）高知市文化プラザかるぽーとにて「ふくし就職フェア」が開催されました。土佐希望の家からも職員が参加しました。

会場は60以上の福祉関係の施設・事業所と福祉関係の仕事がしたいと集まってきた、沢山の皆さんで熱気に溢れていました

前半は早川療育員による、明るく元気なステージＰＲ、後半は希望の家ブースでの施設説明会でした。ブースには、話を聞きたいと沢山の人が来てくださいました。

土佐希望の家では随時、就職の相談を受け付けていますので、いつでもお気軽にご相談ください。

お知らせ

4月16日（日）13時30分より15時まで通園ホールにて後援会主催による「おしゃべりカフェ」を開催いたします。当日は保護者会となっております。保護者会全体会は早めの13時よりリハビリ室で開催いたします。

なお、翌週4月23日（日）午後からは、昨年、大好評だったソロプチミスト高知様による「呈茶」を通園ホールにて開催します。

両日とも、皆様、お揃いでいらしてください。

編集後記

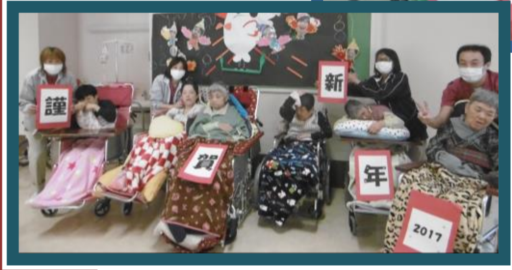
本来ならば、2月に発行予定の土佐希望の家通信91号でしたが、発行が大変遅くなり、申し訳ありませんでした。記事の内容も沢山あり、情報が古いものもあったと思いますが、お楽しみいただけたでしょうか。

今後、掲載したい内容などがございましたら、ドシドシお寄せください。お待ちしております。

次号（5月末～6月上旬発行予定）では今回お休みした「家族の窓」も掲載します。お楽しみに！！

各病棟・通園より

1病棟　書初め



3病棟　書初め

2病棟 クリスマス会

通園　成人式（3名様）

3月3日撮影の雪割り桜。今年は寒い日が続き、ソメイヨシノの開花は例年より遅いですね・・・

高知福祉専門学校・県立大の皆さん　ご協力ありがとうございました。

土佐希望の家では定期的に実習生の皆さんの受け入れをさせていただき、療育・看護・リハビリの現場で学んでいただきます。今回は高知福祉専門学校・高知県立大の皆さんの声をご紹介いたします。

あっという間の23日間の実習でした。毎日皆様の笑顔に支えられ職員の皆様の丁寧なご指導のお陰で頑張ることができました。

明るく楽しい職員の皆様や利用者の方が多く、わかりやすく指導していただき充実した職場体験になりました。ありがとうございました。

職員の皆様が、利用者の方一人ひとりのことを、真剣に考えて、支援をされていることが分かりました。アットホームな雰囲気で、毎日とても楽しく職場体験に臨むことができました。

利用者様との関わりや職員さんからの指導の中で、多くの学びや発見があり、私を大きく成長させてくれたように思います。皆さんと笑顔のある楽しい日々を過ごすことができました。

自分たちの知らない事や利用者の方、職員の方、色々な繋がりがある事を深く知ることができました。短い期間でしたが、少しでも土佐希望の家を知ることができました。ありがとうございました。